

9月1日（木）枚方市立伊加賀小学校を訪問しました！

対談テーマ

教職員の働き方改革について

先駆的かつ持続性に配慮した教職員の働き方改革を推進している枚方市教育委員会と市立伊加賀小学校の実践を視察し、効果的な働き方改革の推進について対談しました。

訪問した委員

土井 真一 委員

野村 早苗 委員



枚方市立伊加賀小学校について

「明るい子・思いやりのある子・考える子・最後までやりぬく子」を学校教育目標とし、チーム伊加賀で安全・安心・信頼の学校づくりに取り組んでいます。

業務の在り方の適正化を図り、教職員が働きがいを感じ、誇りを持って働ける環境づくりに努めています。

枚方市教育委員会 教職員課から

教職員一人ひとりが心身の健康保持の実現と、誇りややりがいをもって勤務することで、子どもたちに効果的で充実した教育活動を行うことを目指して、学校における働き改革を推進しています。



枚方市の働き方改革の情報はこちら♪

意見交換より

委員：コロナ禍における健康観察をICTの活用で効率化されたとのことだが、対応が難しい家庭はないか。

学校：子どもたちにもやり方を覚えてもらい、保護者だけでなく、子どもたち自らも回答できるようにしている。

委員：保護者に呼び掛けていることはあるか。

学校：働き方改革の取組をブログ・おたより等で発信している。学校の役割と保護者の役割が整理できるように、家庭教育について保護者と丁寧に話をしていく必要があるととらえている。



市教委：業務改善の手法の共通化をトップダウンで行うことは、負担感を与える場合があるため、効果と共に情報提供することで、興味を持たせる方法をとっている。

委員：進め方としては、学校や教員の主体性をできるだけ尊重し、客観的なデータをもとに現状を伝えていくということか。

市教委：「やらされ感」が増えると進まないの、やりたい気持ちを高める工夫をしている。それにより各学校に合った業務改善となる。



滋賀県の働き方改革の情報はこちら♪